

燕市定員管理計画の計画値の見直しについて

令和5年10月 燕市

令和2年3月策定の燕市定員管理計画は、今年度の組織改正に伴う子育て支援体制の強化や、令和6年度から本格開始となる定年引上げの影響などを加味していないため、計画値と実績値に乖離が生じています。

そのため、策定後に発生した人員増の要因を考慮して計画値を見直します。

1 当初の計画値

令和7年4月1日の計画値は、令和2年4月1日の職員数632人に対し、12人減員とする620人としています。

区分	(基準値) R2.4.1実績	(当初の計画値) R7.4.1見込
常勤職員(A)	619人	604人
短時間勤務職員(B) ※	13人 (18人×0.7)	16人 (23人×0.7)
計(A)+(B)	632人	620人

※短時間勤務を考慮し、1人あたり0.7人で換算し、端数は四捨五入。

2 実績値の経過

実績値は、策定後に発生した人員増の要因から、当初の計画値と乖離しています。

区分	R3.4.1実績	R4.4.1実績	R5.4.1実績	R6.4.1見込み
常勤職員(A)	618人	608人	625人	625~630人程度
短時間勤務職員(B) ※	8人 (11人×0.7)	10人 (14人×0.7)	10人 (14人×0.7)	8人程度 (11人程度×0.7)
計(A)+(B)	626人	618人	635人	630~640人程度
対計画値	+6人	▲2人	+15人	+10~20人程度

※短時間勤務を考慮し、1人あたり0.7人で換算し、端数は四捨五入。

【策定後に発生した人員増の要因】

要因	増加数
(1)国の施策等の影響によるもの ①こども政策部新設など子育て支援強化関係(常勤+13人) ②職員の定年引上げ関係(常勤+3人分:常勤+10人、短時間勤務▲10人×0.7※)	+16人
(2)その他、社会情勢の変化や住民ニーズ多様化等への対応 DX、ふるさと納税、若者活躍支援等(常勤+4人)	+4人
合計	+20人

※短時間勤務10人がフルタイム勤務になるため。

<次ページへ続く>

3 見直し後の計画値 (R7.4.1)

見直し後の計画値は、当初の計画値に上記「策定後に発生した人員増の要因」を加算した値として設定します。

区分	当初の計画値 (再掲)	増減	見直し後の計画値
常勤職員 (A)	604 人	+27 人	631 人
短時間勤務職員 (B) ※	16 人 (23 人×0.7)	▲7 人 (▲10 人×0.7)	9 人 (13 人×0.7)
計 (A) + (B)	620 人	+20 人	640 人

※短時間勤務を考慮し、1人あたり0.7人で換算し、端数は四捨五入。

4 計画の改正方法

当初の燕市定員管理計画自体に加筆や修正は行わず、見直しの要因や見直し後の計画値を記載したこの「燕市定員管理計画の計画値の見直しについて」の作成をもって計画を改正したものとします。